

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

平成27年 1月23日

協議会名: 中土佐町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名: 中土佐ハイヤー	運行系統名: (1)大野萩原線 (2)黒石野線 (3)黒石野線(楠の川) (4)松の川川崎線 (5)大坂線 (6)萩中線 (7)下ル川線	運行初年度のため、事業評価結果の反映状況はなし。	A ■事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 地域により、利用状況に差はあるものの生活に必要な路線として定着し、地域にとって必要不可欠な交通手段となっている。しかし、各系統の利用目標に関しては、大半の系統が目標値に達していない状況に加え、一部系統については、慢性的に利用者数が少ない状況にある。	本格運行を実施して1年が経過した事で生活交通手段として一定の定着は出来たと判断できるが、利用者の固定化が考えられるため、今後も各地域でのヒアリング等を実施し、利用者の掘り起しやニーズの把握をする事で、路線の再編、ダイヤの見直しを検討し、目標に向けた持続可能な運行を検討していく。